

令和6年度 大束小学校関係者評価書(最終評価)

観 点	重点目標	方策手立て等	評価指標	自己評価		学校関係者評価	
				目標別	総合	評価	コメント
『健 』（体 育）	1 基本的な生活習慣を身に付けた児童の育成	くすのきっカードを活用した早寝・早起き・朝ごはんの定着を図る。	早寝・早起きをし、朝ごはんを食べて登校する児童〈アンケート〉	3.0	3	3	○よく定着が図られている。今後の継続指導を期待する。 ○基本的な生活習慣を身に身に付けさせるには保護者の意識を高めていかないといけない。ノーメディアデーの取組と平日のメディアの時間制限は必要、家庭と連携して取り組んでほしい。
		参観日などを活用し、家庭と連携した正しいメディアとの接し方の定着を図る。	メディアの約束を守る児童〈アンケート〉				
		チャイム着席など、日々の指導による時を守る意識の定着を図る。	時を守る児童〈アンケート〉				
	2 発達段階に応じた体力づくりの推進	体育科授業の充実、スクールスポーツプランに基づく取り組みの継続的な実践を行う。	体育の時間に一生懸命運動する児童〈アンケート〉	3.4			
		日常的な外遊びや季節に合った運動等とおした、運動習慣の定着と体力の向上を図る。	晴れた日は外に出て遊ぶ児童〈アンケート〉				
		集団指導と個の目標に応じた指導をバランスよく行い、最後までねばり強くやり遂げようとする、たくましい心身の育成を図る。	体力向上のための運動に最後まで取り組む児童〈アンケート〉				
	3 日常的な保健・安全指導の充実	健康診断の結果に基づく指導をとおして、健康に関心をもち、すすんで治療しようとする態度を養う。	自分の体のことを知り、受診の必要なところをすすんで治療する児童〈むし歯治療率〉	3.3			
		性教育や栄養指導等とおして、生命や健康を自ら大切にしようとする態度を養う。	生命を尊重しようとする児童〈アンケート〉				
		交通安全教室及び日常的な通学指導をとおして、交通ルールを守り、自分の命は自分で守ろうとする態度を養う。	交通安全を守って登下校しようとする児童〈アンケート〉				

観 点	重点目標	方策手立て等	評価指標	自己評価		学校関係者評価	
				目標別	総合	評価	コメント
『正』（知育）	1 望ましい学習習慣の定着	「学びの約束」を徹底し、授業を大切にする意識を高める。	授業の準備をきちんとし、チャイム黙想をする児童〈アンケート〉	3.2	3	3	○授業を参観すると、じっとできない児童が多いよう感じる。 ○学習が成立していない学級の状況を耳にする。この問題を解決するには、学校の教育力だけでなく、家庭、地域の教育力を高めていく必要がある。今後も職員のチームワークを大切にし、諸機関とも連携して取り組んでほしい。 ○コミュニケーション能力をどう高めていくのかが大切だと考える。授業以外の様々な場面での学びも大切にしてほしい。 ○BBTの取組は続けてほしい。 ○読書については、図書室の充実が図られている。本の面白さに気付くよう仕向けていく必要がある。 ○子どもたちは、地元愛を感じているようなので、地域を学ぶ取組を続けてほしい。
			話を聞くときは、立腰の姿勢で静かに最後まで聞く児童〈アンケート〉				
			質問には、はっきりと返事や反応を返す児童〈アンケート〉				
			ノートを素早くていねいに書く児童〈アンケート〉				
			印を付けたり、図や絵を描いたりして、問題を正しく理解する児童〈アンケート〉				
			自分の考えをしっかりと表現する児童〈アンケート〉				
		BBTの充実を図り、望ましい学習習慣や態度を身に付けさせる。	BBTに集中して取り組む児童〈アンケート〉				
	2 基礎的・基本的な学習内容の確実な定着	めあてとまとめの整合、学年の発達段階に応じた協働的な学びの推進等の授業改善をとおして、児童に「わかったこと」「できるようになったこと」を実感させる。	授業がわかった、できたと実感できる児童〈評価テスト〉	3.3			
		ICTの活用等をおして基礎的・基本的な学習内容の定着を図る。	ICT等を活用できた児童〈アンケート〉				
	3 望ましい読書習慣の確立	授業や「家読・ノーマディアデー」を活用し家庭と連携した読書活動を推進することで、望ましい読書習慣を身に付けさせる。	目標冊数を読む児童（目安として 低…100冊 中…80冊 高…60冊）〈読書の記録〉	2.7			
4 郷土に誇りと愛情をもつ児童の育成	地域のひと・もの・ことについて学ぶ授業や活動をおして、郷土愛を深めるとともに、地域のために何ができるかを自ら考えて実践しようとする態度を養う。	串間や大束のことが好で地域に貢献できる児童〈アンケート〉	3.3				

観 点	重点目標	方策手立て等	評価指標	自己評価		学校関係者評価	
				目標別	総合	評価	コメント
『和』(徳育)	1 規範意識をもち、礼儀と感謝を大切にする心と態度の育成	「大束小の当たり前」の指導をとおして、集団の中で誰もが過ごしやすい学校をつくろうとする態度を養う。	大束小学校の当たり前が守れる児童〈アンケート〉	3.0	3	3	○とてもよく頑張っている。 ○「大束小の当たり前」は家庭でも使えるのではない。家庭へも紹介し、家庭でのしつけとして活用し、大束の子ども達を育ててほしい。 ○互いの考えを伝え合い、認め合うことが難しいことであるが、頑張してほしい。 ○児童のコミュニケーション能力を高めしていくことが必要である。 ○児童が自分のことが好きで、将来の夢があることは素晴らしい。
			廊下の右側を歩く児童〈アンケート〉				
		異学年交流をとおして、望ましい言動をはじめとする礼儀や感謝の心を育てる。	自ら進んであいさつや感謝の言葉を使うことのできる児童 〈アンケート〉				
			無言で掃除をする児童〈アンケート〉				
	2 互いに認め、高め合うことができる児童の育成	道徳科の授業をとおして、人権意識を高める指導を行うとともに、いじめの早期発見・早期解決に努める。	「さん」をつけて名前を呼ぶ児童〈アンケート〉	3.1			
			誰とでも同じように仲良くする児童〈アンケート〉				
		委員会活動や学級における話し合い活動等をとおして、互いの意見を尊重する意識を高めるとともに、自分たちが決めたことに責任をもって意欲的に取り組もうとする態度を育てる。	いじめ(意地悪や悪口を含む)をしない児童〈アンケート〉				
			当番や委員会の仕事を主体的にする児童〈アンケート〉				
	3 生徒指導の三機能(自己存在感・共感的人間関係・自己決定の場)を生かした教育活動の推進	的確な集団指導の場、個に寄り添う場、個に応じた配慮や支援を要する場を意識し、児童の前向きにチャレンジしようとする心を支える	自分のことを好きな児童〈アンケート〉	3.3			
			将来の夢をもっている児童〈アンケート〉				

観 点	重点目標	方策手立て等	評価指標	自己評価		学校関係者評価	
				目標別	総合	評価	コメント
学 校 の チ ー ム 力 の 向 上	1 小・中・高一貫教育、 保小連携、小小連携の 推進	「くしま学」を中心とした取組、複数校による合同 行事や集合学習、合同研修の推進と充実に努め る。	近隣の保育園や小学校と連携して教育活動に取り組む学校〈アンケート〉	3.2	3	4	○大束地区のことを理解し、大束小の児童の ために、校長先生を中心に先生方が努力される姿に感謝している。 ○地域の保育園等とさらに連携を深めてほしい。 ○150周年の取組・式典は素晴らしかった。
			市内の中学校、高等学校と連携して串間の人づくりに取り組む学校〈アンケート〉				
	2 家庭・地域との連携・ 協働推進	保護者をはじめ地域人材の効果的な活用と地域 素材の教材化を図るとともに、地域と学校が協働 して児童の学びや成長を支える教育環境づくりの 推進を図る。	地域と連携して教育活動に取り組む学校 〈アンケート〉	3.2			
		ホームページの更新や学校だよりの発行、オープンスクールの実施等による積極的な情報発信により開かれた学校を目指す。	積極的に情報発信をする学校〈アンケート〉				
		学校評価をカリキュラムマネジメントに生かす。	前年度の学校評価を生かす学校〈教育課程〉				
	3 関係機関との連携推進	PTAをはじめ地域・市・県の関係機関との連絡を密にし、必要な事案に対して早期に対応できるよう、連携の推進に努める。	PTAをはじめ地域・市・県の関係機関との連携を図る学校〈アンケート〉	3.2			
	4 コンプライアンスの推進	服務規律の徹底と定期的な職員研修の充実を図り、家庭・地域からの信頼に応える教育活動を展開する。	地域から信頼される学校〈アンケート〉	3.2			